

# ドイツ

2021年12月3日  
海外調査部・ベルリン事務所

2020年のドイツの実質GDP成長率は、前年を大幅に下回るマイナス4.9%となった。内需、外需ともに低迷し、2009年以来のマイナス成長となった。輸出入と貿易黒字のいずれも減少した。輸出はほとんどの国・地域で減少、品目別でも乗用車など多くの品目が落ち込んだが、医薬品が増加した。輸入は中国からの増加がみられた。対内投資は米国が増加、対外投資は前年比3割近く減少した。日本との貿易は輸出入ともに大幅に縮小した。日本からの投資が縮小する一方で、対日投資が拡大した。

## ■2020年は2009年以来のマイナス成長、2021年には回復の見込み

2020年のドイツの実質GDP成長率はマイナス4.9%と前年の1.1%を6.0ポイント下回り、金融危機後の2009年以来のマイナス成長となった。ドイツでは、新型コロナ感染拡大防止のため、3～4月、11月～翌年5月までの2度の行動制限措置に伴い、経済活動が制限された。これにより、経済を下支えしてきた内需のみならず、国境をまたぐサプライチェーンの混乱により製造業が打撃を受け、輸出も落ち込んだため、GDP成長率は大幅なマイナスとなった。

需要項目別にみると、前年比増は3.5%増の政府最終消費支出のみだった。民間最終消費支出は6.1%減と前年の1.6%増からマイナスに転じ、総固定資本形成も3.0%減と前年の1.9%増から縮小した。内訳をみると、土木工事と住宅建設が好調で建設投資は1.6%増とプラス成長を維持したが、製造業の低迷により設備投資が12.3%減と、前年の1.1%増から大幅縮小した。また、財貨・サービスの輸出は10.1%減、輸入は9.2%減となり、伸び率は前年からそれぞれ11.2ポイント、12.1ポイント低下した。輸出の落ち込み幅が輸入より大きかったため、純輸出のGDP成長率への寄与度は前年に引き続きマイナスとなった。

経済・エネルギー省は、2020年11月に再導入された新型コロナ感染拡大に伴う行動制限措置が2021年第2四半期に段階的に緩和され、サービス業の回復と個人消費の活発化がみられる反面、原材料の供給不足による生産活動の減退から製造業が減速していることを折り込み、2021年の実質GDP成長率予測を、2021年1月発表の3.0%から10月に2.6%へ下方修正した。政府は、2020年6月に発表した新型コロナ危機に対しての大型経済対策を2021年も継続し、新型コロナ危機からの再起、経済回復の支援、経済構造の強化を図るとしている。水素、量子技術、人工知能などの領域への投資は500億ユーロ規模となる。またEU復興基金を活用し、気候変動対策とデジタル化を中心に2026年までに

表1 ドイツの需要項目別実質GDP成長率

	2019年	2020年				2021年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	1.1	△ 4.9	△ 1.8	△ 10.0	9.0	0.7	△ 2.0
民間最終消費支出	1.6	△ 6.1	△ 2.1	△ 11.5	11.5	△ 2.7	△ 5.2
政府最終消費支出	3.0	3.5	0.9	0.8	1.7	0.9	△ 0.7
総固定資本形成	1.9	△ 3.0	△ 0.1	△ 6.9	4.5	2.4	△ 0.7
財貨・サービスの輸出	1.1	△ 10.1	△ 3.4	△ 20.1	17.5	4.6	1.4
財貨・サービスの輸入	2.9	△ 9.2	△ 1.5	△ 16.9	9.3	2.7	4.2

(単位：%)  
〔注〕 四半期の伸び率は前期比 (季節調整済み)。  
〔出所〕 ドイツ連邦統計局

279億ユーロを投じる。

## ■輸出では自動車関連が減少、医薬品が増加

ドイツ連邦統計局によると、2020年の貿易は、輸出が前年比9.3%減の1兆2,052億8,100万ユーロ、輸入は7.1%減の1兆253億4,400万ユーロとなった。貿易収支は1,799億3,700万ユーロの黒字だったが、黒字額は前年から440億7,400万ユーロ減少した。新型コロナ感染拡大に伴う世界的な需要減や、国内製造業の操業停止など、製造業を中心に打撃を受け、輸出入ともに大幅に減少した。

表2 ドイツの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
機械および輸送用機器	648,149	562,890	46.7	△ 13.2	機械および輸送用機器	412,931	377,704	36.8	△ 8.5
道路走行車両	216,307	181,501	15.1	△ 16.1	道路走行車両	120,390	105,431	10.3	△ 12.4
乗用車	128,110	106,643	8.8	△ 16.8	乗用車	64,476	57,347	5.6	△ 11.1
自動車部品	60,329	51,613	4.3	△ 14.4	自動車部品	38,232	31,594	3.1	△ 17.4
電気機器およびその部分品	110,309	104,952	8.7	△ 4.9	電気機器およびその部分品	90,538	86,728	8.5	△ 4.2
一般工業用機械類およびその部分品	100,226	91,981	7.6	△ 8.2	熱電子管・半導体	21,298	17,182	1.7	△ 19.3
原動機	51,101	41,559	3.4	△ 18.7	一般工業用機械類およびその部分品	47,565	43,415	4.2	△ 8.7
その他輸送機器	50,258	33,858	2.8	△ 32.6	原動機	36,005	28,732	2.8	△ 20.2
航空機・関連機器	41,329	25,785	2.1	△ 37.6	その他輸送機器	22,160	17,123	1.7	△ 22.7
化学製品	214,523	212,698	17.6	△ 0.9	化学製品	149,795	148,827	14.5	△ 0.6
医薬品	81,860	86,698	7.2	5.9	医薬品	52,679	58,647	5.7	11.3
原料別製品	157,101	143,872	11.9	△ 8.4	雑製品	140,274	134,198	13.1	△ 4.3
その他金属製品	41,738	37,694	3.1	△ 9.7	衣類およびその付属品	35,609	33,673	3.3	△ 5.4
鉄鋼	25,446	21,277	1.8	△ 16.4	原料別製品	131,047	123,307	12.0	△ 5.9
雑製品	151,456	138,808	11.5	△ 8.4	鉄鋼	25,617	20,044	2.0	△ 21.8
計測機器および制御機器	52,617	47,751	4.0	△ 9.2	食料品および生きた動物	66,409	68,053	6.6	2.5
衣類およびその付属品	21,889	20,542	1.7	△ 6.2	鉱物性燃料、潤滑剤	94,146	63,881	6.2	△ 32.1
食料品および生きた動物	58,888	59,256	4.9	0.6	石油、石油製品	59,620	38,419	3.7	△ 35.6
特殊取扱品	33,667	34,567	2.9	2.7	天然ガスおよび製造ガス	28,014	20,617	2.0	△ 26.4
鉱物性燃料、潤滑剤	32,841	23,356	1.9	△ 28.9	特殊取扱品	62,202	62,281	6.1	0.1
非食用原材料(鉱物性燃料除く)	20,606	20,124	1.7	△ 2.3	非食用原材料(鉱物性燃料除く)	35,882	35,501	3.5	△ 1.1
飲料およびたばこ	8,712	7,238	0.6	△ 16.9	飲料およびたばこ	8,551	8,468	0.8	△ 1.0
動植物性油脂、脂肪、ろう	2,208	2,471	0.2	11.9	動植物性油脂、脂肪、ろう	2,904	3,126	0.3	7.6
合計(その他含む)	1,328,152	1,205,281	100.0	△ 9.3	合計(その他含む)	1,104,141	1,025,344	100.0	△ 7.1

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域外貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ドイツ連邦統計局

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目の機械および輸送用機器(構成比46.7%)が前年比13.2%減となった。内訳をみると、道路走行車両(15.1%)の16.1%減、原動機(3.4%)の18.7%減、その他輸送機器(2.8%)の32.6%減が品目全体の減少につながった。中でも、乗用車(8.8%)が16.8%減、自動車部品(4.3%)が14.4%減、航空機・関連機器(2.1%)が37.6%減と大幅に減少した。ドイツ自動車産業連合会(VDA)によると、2020年の乗用車の輸出台数は前年比24.1%減の264万6,644台となり、米州向けは31.6%減、EUは26.4%減、アジア大洋州は15.3%減と、主要市場で大幅な落ち込みがみられた。原料別製品(11.9%)は、鉄鋼(1.8%)が16.4%減となり、8.4%減に落ち込んだ。そのほか、計測機器および制御機器(4.0%)が9.2%減、雑製品(11.5%)も8.4%減だった。前年比で増加したのは、新型コロナ感染拡大に伴って需要が増加した医薬品(7.2%)の5.9%増など一部の品目に限られた。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先であるEU(構成比52.7%)は前年比9.1%減だった。EUで最大の輸出先フランス(7.5%)は、主力輸出品目の乗用車(7.8%)が21.5%減、航空機・関連機器(6.4%)が47.1%減と大幅に減少したため、14.8%減となった。オランダ(7.0%)が7.7%減、イタリア(5.0%)が11.1%減、オーストリア(5.0%)が9.1%減と、いずれも減速した。中・東欧への輸

出では、ポーランド（5.4%）が1.5%減、チェコ（3.3%）が10.9%減と、いずれも減少した。

EU域外では、最大の輸出先である米国（8.6%）が、主要輸出品目である乗用車（13.0%）の前年比27.7%減が響き、医薬品（5.9%）の40.0%増を打ち消し、全体で12.5%減になった。次に輸出額が大きい中国（8.0%）が0.1%減と前年からほぼ横ばいとなったのは、比較的早期に中国の経済が回復したことによる。自動車部品（9.6%）が10.1%増と好調だった一方、乗用車（15.2%）が4.1%減と落ち込んだ。また、2020年1月末にEU離脱したが、年内は移行期間にあった英国（5.5%）は15.7%減となり、2009年の金融危機以来最大の下げ幅を記録した。英国向け主要輸出品目の乗用車（17.0%）が30.9%減と大幅に縮小したことが影響した。英国の国民投票でEU離脱が決定した2016年以降、対英輸出は減少が続いている。

2021年の輸出は新型コロナ感染拡大の影響からの回復基調にあり、2021年上半期の輸出は前年同期比16.6%増、新型コロナ禍以前の2019年上半期比で1.0%増となった。VDAによると、2021年上半期の乗用車輸出台数は前年同期比19.2%増と堅調だが、2019年の水準には回復しておらず、世界的な半導体の供給不足が回復の足かせ要因となるとの見通しを示した。

表3 ドイツの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
EU	698,257	634,766	52.7	△ 9.1	EU	593,251	547,170	53.4	△ 7.8
ユーロ圏	492,308	440,955	36.6	△ 10.4	ユーロ圏	409,863	372,129	36.3	△ 9.2
フランス	106,564	90,802	7.5	△ 14.8	オランダ	97,816	87,662	8.5	△ 10.4
オランダ	91,528	84,481	7.0	△ 7.7	フランス	66,199	56,518	5.5	△ 14.6
イタリア	67,887	60,375	5.0	△ 11.1	イタリア	57,100	54,002	5.3	△ 5.4
オーストリア	66,076	60,079	5.0	△ 9.1	オーストリア	44,059	40,410	3.9	△ 8.3
ベルギー	46,243	43,304	3.6	△ 6.4	ベルギー	43,049	36,960	3.6	△ 14.1
非ユーロ圏	205,949	193,782	16.1	△ 5.9	非ユーロ圏	183,387	175,042	17.1	△ 4.6
ポーランド	65,837	64,873	5.4	△ 1.5	ポーランド	57,615	58,399	5.7	1.4
チェコ	44,464	39,598	3.3	△ 10.9	チェコ	47,670	43,580	4.3	△ 8.6
英国	79,166	66,776	5.5	△ 15.7	英国	38,397	34,806	3.4	△ 9.4
アジア大洋州	198,284	187,460	15.6	△ 5.5	アジア大洋州	211,374	212,212	20.7	0.4
中国	95,984	95,860	8.0	△ 0.1	中国	110,054	117,004	11.4	6.3
ASEAN	27,842	22,377	1.9	△ 19.6	ASEAN	40,586	38,784	3.8	△ 4.4
シンガポール	7,305	6,136	0.5	△ 16.0	ベトナム	9,721	10,281	1.0	5.8
マレーシア	5,568	4,649	0.4	△ 16.5	マレーシア	8,698	8,359	0.8	△ 3.9
タイ	5,020	4,191	0.3	△ 16.5	タイ	5,995	5,644	0.6	△ 5.9
ベトナム	4,305	2,972	0.2	△ 31.0	シンガポール	5,758	4,850	0.5	△ 15.8
韓国	17,253	17,777	1.5	3.0	韓国	23,904	21,346	2.1	△ 10.7
日本	20,662	17,382	1.4	△ 15.9	日本	12,296	11,317	1.1	△ 8.0
インド	11,923	10,665	0.9	△ 10.6	インド	9,396	8,895	0.9	△ 5.3
米国	118,680	103,821	8.6	△ 12.5	米国	71,334	67,684	6.6	△ 5.1
スイス	56,345	56,287	4.7	△ 0.1	スイス	45,824	45,475	4.4	△ 0.8
ロシア	26,557	23,068	1.9	△ 13.1	ロシア	31,253	21,477	2.1	△ 31.3
トルコ	19,583	21,320	1.8	8.9	トルコ	15,866	15,343	1.5	△ 3.3
メキシコ	13,691	11,290	0.9	△ 17.5	南アフリカ共和国	9,598	8,507	0.8	△ 11.4
カナダ	10,914	9,335	0.8	△ 14.5	ノルウェー	11,930	8,028	0.8	△ 32.7
ブラジル	10,158	8,450	0.7	△ 16.8	メキシコ	8,696	7,842	0.8	△ 9.8
ノルウェー	9,136	8,401	0.7	△ 8.0	ブラジル	7,033	6,129	0.6	△ 12.9
南アフリカ共和国	9,235	6,542	0.5	△ 29.2	カナダ	5,673	5,509	0.5	△ 2.9
イラン	1,512	1,547	0.1	2.3	イラン	207	275	0.0	32.5
合計（その他含む）	1,328,152	1,205,281	100.0	△ 9.3	合計（その他含む）	1,104,141	1,025,344	100.0	△ 7.1

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告書などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] ドイツ連邦統計局

## ■中国からの輸入が大幅増加

2020年の輸入を主要品目別にみると、最大の輸入品目の機械および輸送用機器（構成比36.8%）は前年比8.5%減と減少した。そのうち道路走行車両（10.3%）は12.4%減で、中でも乗用車（5.6%）が11.1%減、自動車部品（3.1%）が17.4%減と大幅に縮小した。このほか、電気機器およびその部分品

(8.5%) は、熱電子管・半導体 (1.7%) の19.3%減が響いて、4.2%減となった。鉱物性燃料、潤滑剤 (6.2%) は32.1%減、中でも石油、石油製品 (3.7%) が35.6%減、天然ガスおよび製造ガス (2.0%) が26.4%減と大きく落ち込んだ。そのほか、原料別製品 (12.0%) は、鉄鋼 (2.0%) が21.8%減と大幅に減少し、5.9%減だった。化学製品 (14.5%) は、医薬品 (5.7%) が11.3%増と好調だったが、有機化学品 (3.1%) が8.3%減、プラスチック (1.4%) が14.7%減と縮小したため、全体で0.6%減の微減となった。

輸入を国・地域別にみると、最大の輸入元であるEU (構成比53.4%) は前年比7.8%減となった。9.2%減だったユーロ圏 (36.3%) では、同圏内で最大の輸入元であるオランダ (8.5%) が、石油製品 (6.4%) の43.0%減が響き、10.4%減となった。フランス (5.5%) は、主な輸入品目の航空機・関連機器 (6.6%) が34.5%減と大幅に落ち込み、14.6%減の大幅減となった。EUの非ユーロ圏では、ポーランド (5.7%) が1.4%増と微増だったが、チェコ (4.3%) が8.6%減、ハンガリー (2.7%) が4.1%減と前年から減速、中・東欧からの輸入は縮小した。

EU域外では、アジア大洋州 (構成比20.7%) からの輸入は前年比0.4%増とほぼ横ばいだった。最大の輸入元の中国 (11.4%) は、その他繊維縫製品が5.2倍と急増したため、6.3%増となり、前年の3.8%増から大幅に増加した。米国 (6.6%) は、乗用車 (8.9%) が9.4%増、原油・粗油 (4.4%) が36.9%増、有機・無機化合物 (1.9%) が2.6倍とそれぞれ好調だったが、非電気式原動機 (8.4%) が29.8%減、測定・分析・制御機器 (3.6%) が19.8%減、熱電子管・半導体 (2.9%) が26.7%減と大幅に減少したことから、全体で5.1%減と前年の10.6%増を大きく下回る縮小となった。2020年1月末にEU離脱し、年内は移行期間だった英国 (3.4%) は、主要輸入品目の乗用車 (7.3%) が17.8%減、原油・粗油 (6.8%) が13.6%減と大きく減少したが、航空機・関連機器 (10.5%) の8.5%増、銀・白金金属 (3.1%) の64.8%増などにより、全体として9.4%減となった。

## ■対内直接投資は回復、自動車関連に大型投資

ドイツ連邦銀行によると、2020年の対内直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー) は972億1,600万ユーロとなり、前年比61.6%増と伸びた。ドイツ貿易投資促進機関 (GTAI) の発表によると、2020年の国外からの投資案件数は前年比214件減の2,056件となった。このうち拡張と移転を含むグリーンフィールド投資案件数は167件減の1,684件だった。雇用創出数も前年比7,000人減の3万5,000人と減少した。国・地域別にみると、米国からの投資が254件と前年に引き続き最多となった。スイスから219件、中国から170件といずれも増加した一方で、英国からは82件減の103件と落ち込んだ。M&A 案件数は前年比47件減の372件となった。

国・地域別にみると、前年に続いて最大の投資元であるEU域内からの直接投資額は541億9,400万ユーロと前年比36.6%増となった。前年に続いてEU域内最大の投資元であるルクセンブルクは250億5,500万ユーロと前年から32.3%の減少に転じた。次いでマルタは48億4,400万ユーロと前年比78.8%増、オーストリアが26億3,000万ユーロで前年比37.1%増だった。フランスは23億900万ユーロで前年比5.3倍と回復した。フランスの重電大手アルストムは、カナダの輸送機器大手ボンバルディアの鉄道部門でドイツに本社を置くボンバルディア・トランスポートの買収を2020年2月に発表、欧州委



員会の承認を経て、2021年1月に55億ユーロで買収を完了した。オランダは4億5,900万ユーロの引き揚げ超過、ベルギーは37億7,600万ユーロの引き揚げ超過だったが、引き揚げ額はともに前年から大きく減少した。

EU域外からは、米国が304億300万ユーロと前年比2.9倍だった。米国の電気自動車（EV）製造のテスラは2020年11月に、総額58億ユーロを投じて、EV用電池工場も追加で建設すると発表した。続いて、英国が111億9,400万ユーロと前年に続いて伸びをみせた。中国は14億6,100万ユーロと前年比39.3%減となった。中国の蓄電池製造の蜂巢能源科技(SVOLT)は2020年11月、電池セル工場とモジュール・パック工場をドイツ西部ザールラント州に20億ユーロを投じて建設することを発表した。

表4 ドイツの国・地域別対内・対外直接投資  
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位: 100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2019年	2020年	2019年	2020年
	金額	金額	金額	金額
EU	39,680	54,194	81,270	64,096
ユーロ圏	27,875	33,767	80,594	49,200
ルクセンブルク	37,025	25,055	35,540	10,613
マルタ	2,709	4,844	104	△ 1,340
オーストリア	1,919	2,630	2,058	△ 22
スペイン	1,936	2,446	4,156	4,987
フランス	436	2,309	526	1,189
オランダ	△ 13,020	△ 459	21,863	24,340
イタリア	163	△ 3,479	9,133	1,459
ベルギー	△ 19,944	△ 3,776	△ 1,133	5,176
非ユーロ圏	11,805	20,427	7,933	7,699
スウェーデン	1,895	7,472	1,407	6,724
ポーランド	571	1,019	2,816	1,224
デンマーク	144	886	1,142	245
ハンガリー	1,981	93	2,128	383
英国	6,507	11,194	△ 7,257	7,197
ロシア	601	450	2,021	△ 380
スイス	1,633	332	3,324	1,153
トルコ	73	98	371	1,331
米国	10,594	30,403	37,637	28,721
中国	2,408	1,461	4,311	△ 1,116
シンガポール	406	1,311	△ 15	1,501
香港	1,057	1,113	△ 146	△ 344
日本	4,816	729	752	2,006
メキシコ	433	719	1,199	△ 168
韓国	101	582	△ 159	1,049
チリ	64	350	37	△ 84
コロンビア	13	111	107	49
合計 (その他含む)	60,170	97,216	136,291	96,602

(出所) ドイツ連邦銀行

表5 ドイツの主な対内直接投資案件 (2020年~2021年3月)

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車	テスラ	米国	2020年11月	58億ユーロ	EV製造のテスラは2020年11月、ブランデンブルグ州グリューンハイデに58億ユーロを投資してEV用蓄電池の工場を建設する計画を発表。2021年末に生産開始予定。
自動車	蜂巢能源科技 (SVOLT)	中国	2020年11月	20億ユーロ	ザールラント州にEV用電池セル工場とモジュール・パック工場を建設すると発表。電池セルの生産は2023年末に開始、生産能力は段階的に拡張し最終的に24ギガワット時となる予定。
バイオテクノロジー	UPM	フィンランド	2020年1月	5億5,000万ユーロ	ザクセンアンハルト州にバイオ燃料精製所を建設すると発表。今後需要の高まる代替燃料を木材から生産する。2022年末に操業開始し、200人を雇用予定。
通信機器・部品	テレフォニカ	スペイン	2020年10月	5億ユーロ	大手通信テレフォニカは、独大手保険のアリアンツと折半出資の合弁会社を設立することを発表。光ファイバー網に接続されていない地域での光ファイバー網の構築と、地域の通信サービスプロバイダーに光ファイバー通信回線 (FTTH) を販売する事業を行う。
物流	ユナイテッド・パーセル・サービス (UPS)	米国	2020年2月	1億6,000万ユーロ	ニーダーザクセン州ハノーバーに先端技術を用いた物流ハブ建設に着手したことを発表。既存施設の改修とともに、新規施設も建設。2023年までに荷物の処理能力を毎時1万5,000個から3万個に倍増させ、500人の新規雇用を予定。

<M&A>

業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
化学	バイエル	エランコ・アニマル・ヘルス	米国		2020年8月	68億9,000万ドル	動物用製薬会社エランコ・アニマル・ヘルスは、バイエルの動物用薬品事業の買収を完了。バイエルは現金51億7,000万ドルとエランコの株式7,290万株を受領。エランコは同買収を通じて店頭およびオンラインでの販売力強化を狙う。
機械	ボンバルディア・トランスポート	アルストム	フランス		2021年1月	55億ユーロ	アルストムは、カナダの輸送機器大手ボンバルディアの独子会社であるボンバルディア・トランスポートの買収を完了。
化学	BASF	ローン・スター	米国		2020年9月	31億7,000万ユーロ	化学大手BASFは、投資ファンドのローン・スター関連会社への建設化学品事業の譲渡を完了。
バイオテクノロジー	MYR	ギリアド・サイエンシズ	米国		2021年3月	14億5,000万ユーロ	バイオ医薬品企業のギリアド・サイエンシズは、MYRの買収を完了。MYRが欧州医薬品庁より条件付き承認を受けたD型肝炎治療薬の展開を進める。
専門サービス	コンピタンス・コール・センター	テラス・インターナショナル	カナダ		2020年2月	9億1,500万ユーロ	カナダの大手電気通信テラス・インターナショナルは、コールセンター事業を手掛けるコンピタンス・コール・センターの買収を完了。

(出所) 各社発表および報道などから作成

## ■対外直接投資は減少

ドイツ連邦銀行によると、2020年の対外直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比29.1%減の966億200万ユーロとなった。国・地域別にみると、EU域内向けが21.1%減の640億9,600万ユーロ、うちユーロ圏への投資は39.0%減の492億ユーロだった。中でも、オランダが11.3%増の243億4,000万ユーロで、EU域内で最大の投資先となった。前年の最大投資先だったルクセンブルクは70.1%減の106億1,300万ユーロに縮小した。続くベルギーは6.6倍の51億7,600万ユーロ、スペインは20.0%増の49億8,700万ユーロだった。EU域内の非ユーロ圏は前年の79億3,300万ユーロから、76億9,900万ユーロへとほぼ横ばいにとどまった。スウェーデンが67億2,400万ユーロと前年より4.8倍拡大した。

EU域外では、米国が前年比23.7%減の287億2,100万ユーロだったが、前年に続き国別で最大の投資先となった。自動車部品メーカーのZFフリードリヒスハーフェンは2020年5月、同社の商用車部門強化のため、70億ドルを投じて商用車向けブレーキメーカーのワブコの買収を完了した。英国は71億9,700万ユーロと前年比3倍となった。発電事業者RWEは2020年2月、ガス・電力事業者セントリカからのキングス・リン・ガス発電所の買収を完了した。中国は前年の43億1,100万ユーロから11億1,600万ユーロの引き揚げ超過に転じた。

表6 ドイツの主な対外直接投資案件（2020年～2021年4月）

<M&A以外>

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
エネルギー	RWE	英国	2021年3月	30億ポンド	エネルギー大手RWEが英国・北海の洋上風力発電「ソフィア」への投資を発表。洋上風力発電機100基を設置し、建設完了は2026年第4四半期で、総発電容量は1.4ギガワットの見込み。
自動車	BMWプリリアンスオートモーティブ	中国	2020年4月	30億ユーロ	BMWと中国自動車メーカー華晨汽車集団（プリリアンス）による合弁会社であるBMWプリリアンスオートモーティブは、中国遼寧省瀋陽市での新たな自動車工場建設と既存の工場の拡張を発表。
自動車	ダイムラートラック	中国	2020年12月	38億人民元	ダイムラートラックは、北汽福田汽車との合弁会社である北京福田戴姆勒汽車（BFDA）において、中国市場向けのメルセデス・ベンツのトラックの生産ラインを設置すると発表。
自動車部品	ZFフリードリヒスハーフェン	米国	2021年2月	2億ドル	自動車部品製造メーカーのZFは、2023年より米国サウスカロライナ州の生産施設で商用車用トランスミッションの製造を開始するため追加投資すると発表。
食品	ハローフレッシュ	米国	2020年8月	非公表	ミールキットの宅配サービスを提供するハローフレッシュは、米国南東部の需要増に対応し、ジョージア州とテキサス州に配送センターを開業すると発表。テキサス州ではミールキット生産設備も拡張する。計1,950人の新規雇用が見込まれる。

<M&A>

業種	買収企業		被買収企業（事業）		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
医療機器	シーメンスヘルシニアーズ	バリアン・メディカル・システムズ	米国		2021年4月	164億ドル	シーメンスヘルシニアーズは放射線治療機器メーカーの米バリアン・メディカル・システムズの買収を完了。がん治療分野を強化する。
自動車	ZFフリードリヒスハーフェン	ワブコ	米国		2020年5月	70億ドル	自動車部品メーカーのZFは、商用車向けブレーキメーカーのワブコの買収を完了。
エネルギー	イネオス・スタイロルーション	BP	英国		2021年1月	50億ユーロ	スチレン系サプライヤーのイネオス・スタイロルーションは、英国BPの石油化学（芳香族化合物、アセチル関連）事業の買収を完了。
化学	バイエル	アスクレピオス・バイオフィーマシューティカル	米国		2020年12月	40億ドル	バイエルは、米・遺伝子治療薬開発企業アスクレピオス・バイオフィーマシューティカルの買収を完了。遺伝子治療分野を強化する。
ソフトウェア	フォルクスワーゲン	アルゴAI	米国		2020年6月	26億ドル	フォルクスワーゲン（VW）は自動運転車両技術スタートアップのアルゴAIへの投資を完了。VW自動運転車両開発を行う子会社AID（Autonomous Intelligent Driving）の事業をアルゴAIに統合し、北米と欧州における自動運転車の商用化を目指す。また、アルゴAIにはフォードも共同出資しており、VWとフォードが同数の株式を保有、両社の株式持ち分が過半数超となり経営権を獲得。
エネルギー	RWE	セントリカ	英国		2020年2月	1億500万ポンド	RWEはガス・電力事業者のセントリカからのキングス・リン・ガス発電所買収を完了した。この買収でRWEの英国でのガス発電量は7.1ギガワットに増加し、英国国内で有数のガス発電事業者となった。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

## ■対日貿易は輸出、輸入の双方向で減少

2020年の対日貿易は、輸出が前年比15.9%減の173億8,200万ユーロ、輸入が10.7%減の213億4,600万ユーロと、輸出入ともに大幅に縮小した。

対日輸出を主要品目別にみると、有機・無機化合物（構成比4.5%）が前年比40.5%増と大きく伸長したものの、主力の乗用車（18.4%）の30.3%減、薬剤（8.0%）の25.4%減、測定・分析・制御機器

(4.4%) の18.0%減などが大幅減となり、対日輸出額を押し下げた。

対日輸入では、主要輸入品目の乗用車(9.9%)が前年比22.5%減となったほか、測定・分析・制御機器(6.3%)の13.5%減、自動車部品(1.3%)の44.8%減などが輸入額全体を押し下げた。多くの品目が落ち込む中、増加したのは29.7%増の有機・無機化合物(3.7%)や、88.2%増の薬剤(0.9%)などだった。

ドイツ外務省は、新型コロナ感染拡大の影響で大幅に減少した日本との貿易の回復に、日EU経済連携協定(EPA)が今後寄与するだろうとしている。

表7 ドイツの対日主要品目別輸出入(通関ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2019年	2020年				2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
乗用車	4,601	3,206	18.4	△ 30.3	乗用車	2,719	2,107	9.9	△ 22.5
薬剤	1,857	1,385	8.0	△ 25.4	その他電気機器	1,790	1,647	7.7	△ 8.0
医薬品	1,197	1,141	6.6	△ 4.7	測定・分析・制御機器	1,560	1,349	6.3	△ 13.5
有機・無機化合物	555	779	4.5	40.5	熱電子管・半導体	1,189	1,055	4.9	△ 11.3
測定・分析・制御機器	942	772	4.4	△ 18.0	事務用機器	1,035	892	4.2	△ 13.8
自動車部品	600	502	2.9	△ 16.4	玩具・スポーツ用品	725	812	3.8	12.0
その他の産業用機械	429	390	2.2	△ 8.9	有機・無機化合物	604	784	3.7	29.7
その他電気機器	343	337	1.9	△ 1.7	その他の産業用機械	606	579	2.7	△ 4.5
電気回路開閉機器	451	324	1.9	△ 28.2	医療用機器	533	552	2.6	3.5
医療用機器	321	317	1.8	△ 1.3	電気回路開閉機器	637	542	2.5	△ 14.9
合計(その他含む)	20,662	17,382	100	△ 15.9	合計(その他含む)	23,904	21,346	100	△ 10.7

[出所] ドイツ連邦統計局

## ■対独投資は減少も、対日投資は大幅増加

2020年の日本からの直接投資額は、前年の48億1,600万ユーロから7億2,900万ユーロへと大幅に落ち込んだ。GTAIによると、2020年の日本からのグリーンフィールド投資案件数は前年比11件増の82件だった。2020年の日本企業の投資案件としては、東レが3月にバイエルン州の子会社グリーンナリティの水素・燃料電池の核心部材工場の新設を、デンカが同じく3月にザクセンアンハルト州の子会社アイコン・ジェネティクスによるノロウイルスワクチンの研究開発と製造施設用地取得を、昭和電工マテリアルズが11月にバイエルン州の子会社ミナリス・リジェナレイティブ・メディシンによる再生医療等製品の商用製造拡大のための新工場建設をそれぞれ発表するなど、需要拡大に対応する事案がみられた。また、トヨタは12月、欧州統括会社トヨタ・モーター・ヨーロッパと金融事業統括会社トヨタファイナンシャルサービスがKINTOヨーロッパをノルトライン・ウェストファーレン州に設立すると発表、2021年4月より自動車関連の月極定額サービス(税金、メンテナンス、保険料等込み)提供を開始した。

日本への直接投資額は20億600万ユーロで、前年の7億5,200万ユーロから大きく増加した。2020年の投資案件をみると、感染症対策製品の製造販売のシュルケ・アンド・マイヤーが4月に日本法人を設立、食品配送のデリバリーヒーローが5月に日本法人を設立、9月よりフードパンダのブランドでサービス提供を開始するなど、新型コロナ禍の需要変化に沿う事業の進出が続いた。また、大手バーチャルパワープラント(VPP)のネクストクラフトベルケが11月、東芝エネルギーシステムズと再生可能エネルギー発電設備向け製品・サービスを提供する合弁会社の東芝ネクストクラフトベルケを設立した。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：8,316 万人 (2020年)			
②面積：35万7,581km <sup>2</sup> (2019年)			
③1人当たりGDP：4万5,733米ドル (2020年、推計値)			
④実質GDP成長率 (%)	1.1	1.1	△ 4.9
⑤消費者物価上昇率 (%)	1.8	1.4	0.5
⑥失業率 (%)	5.2	5.0	5.9
⑦貿易収支 (100万ユーロ)	224,584	216,523	189,532
⑧経常収支 (グロス) (100万ユーロ)	264,156	258,627	232,078
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	59,173	59,185	63,969
⑩対外債務残高 (100万ユーロ)	4,884,457	5,003,342	5,512,138
⑪為替レート (1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均)	0.8468	0.8933	0.8755

〔注〕⑦：国際収支ベース (財のみ)  
〔出所〕①②④⑤⑥：ドイツ連邦統計局、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：ドイツ連邦銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp